

儲かる仕組みにチューニングしよう

形骸化させない品質マネジメントシステム構築の勘どころ 実践講座

せっかく認証取得したのに審査登録だけではもったいない。売上げアップやコストダウン等、企業が求めているゴールや目標に貢献できるようにシステムを改善する為にどうするべきか

◆開催要領◆

●日 時● 2016年 6月 17日(金) 13:00~17:00

●会 場● 「企業研究会セミナールーム」(東京・麹町) 東京メトロ麹町駅より徒歩5分

ご発表者 H2Lab. 代表 (元富士フイルム(株)環境・品質マネジメント部技術担当部長) 原 博 氏

1972年富士写真フイルム入社。「写ルンです」開発、生産、品質保証に従事後、本社CSR推進部環境・品質マネジメント部で統合マネジメントシステムの構築・運用を担当。現在はH2Lab. 代表として各社の品質及び統合マネジメントシステムの構築・運用を支援。

ご発表者 コニカミノルタ株式会社 環境経営・品質推進部 品質経営グループ 課長 一柳 高人 氏

◆ご参加頂きたい方◆

品質保証部門等に所属され、品質マネジメントシステム構築についてご関心のある方

●受講料 ●1名(税込み、資料代含む)

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

正会員	32,400円(本体価格30,000円)
一般	35,640円(本体価格33,000円)

申込書 FAX:03-5215-0951

161245-1111	2016.06.17 形骸化させない品質マネジメントシステム構築		
ふりがな 会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 職 役		
E-Mail			
ふりがな ご氏名	所 属 職 役		
E-Mail			

■参加要領

申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからお申し込みいただけます。後日、(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送りします。

*よくあるご質問(FAQ)は当会ホームページにてご確認いただけます。([公開セミナー]→[よくあるご質問])

*お申込後のキャンセルはお受けしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理の方のご出席をお願いいたします。

*最少催行人数に満たない場合には、中止とさせて頂く事もありますので、ご了承下さい。

■お申込・お問合せ先

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局
(担当)鈴木 E-mail:a-suzuki@bri.or.jp

TEL:03-5215-3550 FAX:03-5215-0951

※申込書にご記入頂いた個人情報、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。
※申込書をご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

6月17日(金)

於：東京・麴町「企業研究会セミナールーム」

【開催にあたって】

第1部では、規格改訂を受けて、企業側は新規格移行に際し、“どの様に対応すべきか？また、事業一体や顧客に密着したマネジメントシステムを指向し、儲かるマネジメントに変革するにはどうしたらいいのか？”の視点で総論を解説して頂きます。第2部では、コニカミノルタ株式会社様をお招きし、「プロセスベースのリスク管理」について現在及び将来のコニカミノルタ社が考える品質マネジメントシステム運用についてご紹介頂きます。

【第1部】儲かる！品質マネジメントシステムの徹底研究と構築～ISO9001:2015改訂対応～

13:00 ～ 14:50

我々は、新規格移行に際し、どの様に対応すべきか？事業一体や顧客に密着したマネジメントシステムを指向し、儲かるマネジメントに変革するにはどうしたらいいのか？

1. ISO9001:2015改訂のポイント
2. 経営視点からの品質マネジメントシステム
3. マネジメントシステムの統合

H2Lab. 代表 (元富士フイルム(株)環境・品質マネジメント部技術担当部長)

原 博 氏

【第2部】「利益を生み出す仕組みとしての品質マネジメントシステム」

～プロセスベースのリスク管理～

15:00 ～ 16:30

1. コニカミノルタ紹介
2. QMS ポジショニングマップ

せっかく認証取得したのだから、審査登録だけではもったいない。売上げアップやコストダウン等、企業が求めているゴールや目標に貢献できるようにシステムを改善して行こう。

3. 事業バリューチェーンとQMSの統合
4. プロセスアプローチへの転換
5. コニカミノルタ情報機器事業のプロセスアプローチ
6. リスクマネジメント
7. まとめ

コニカミノルタ株式会社 環境経営・品質推進部 品質経営グループ 課長 一柳 高人 氏

【質疑応答】16:30 ～ 17:00

* プログラムの最後に原氏・一柳氏へのご質問タイムを設けます。